

信州の山岳文化創生会議  
梅棹忠夫・山と探検文学賞制定15周年に向けて

# 山岳と探検、その未来を探る ～講演とトークセッション～

- 日 時：11月8日（土）
- 会 場：伊那市創造館講堂
- 申込先：takasana-21@snow.plala.or.jp  
Tel 0261-23-1361（扇田）
- 定 員：150名 入場無料
- 締切り：10月29日 先着順

## 第一部(13:30～15:00)

講演 演：高野秀行(13:30～14:10)  
演 題：酒を主食とする人々

講演 演：角幡唯介(14:20～15:00)  
演 題：極北、犬橇と狩りに魅せられて

## 第二部(15:10～16:20)

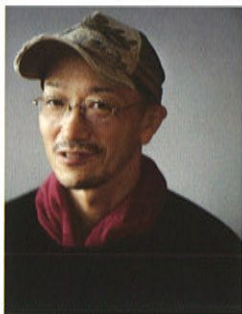
トークセッション：未知の世界を拓く力

パネリスト：高野秀行  
角幡唯介  
白鳥 孝  
進行：神長幹雄

写真：牛田淳

主催：信州の山岳文化創生会議  
後援：長野県  
協力：梅棹忠夫・山と探検文学賞委員会 伊那市  
信濃毎日新聞社 山と溪谷社 エレコム(株)  
ロジテック INA ソリューションズ(株)  
伸和コントロールズ(株)

# 出演者紹介



写真提供  
©Kiyoshi Mori

## 高野秀行（たかの・ひでゆき）

1966年、東京都生まれ。ノンフィクション作家。早稲田大学探検部在籍時に書いた『幻獣ムベンベを追え』をきっかけに文筆活動を開始。『ワセダ三畳青春記』で酒飲み書店員大賞、『謎の独立国家ソマリランド』で講談社ノンフィクション賞と梅棹忠夫・山と探検文学賞、『イラク水滸伝』でBunkamuraドゥ・マゴ文学賞を受賞。主な著書に『アヘン王国潜入記』『語学の天才まで1億光年』『酒を主食とする人々』など。

## 角幡唯介（かくはた・ゆうすけ）

1976年、北海道生まれ。早稲田大学卒、同大学探検部OB。2002年と2009年、ヒマラヤの謎の川とよばれたチベット・ツアンポー峡谷空白部を単独で探検し、『空白の五マイル』で大宅壮一ノンフィクション賞、第1回梅棹忠夫・山と探検文学賞などを受賞。その後、北極圏に活動の場を移し、2011年に極北カナダ1600キロを103日間かけて徒歩で踏破。2016年～17年、極夜の世界を80日間かけて踏破し、『極夜行』で大佛次郎賞などを受賞。2019年1月からグリーンランド最北の村シオラバルクで犬橇を開始、毎年2ヵ月近い狩猟旅行を継続している。『裸の大地第一部 狩りと漂白』『同第二部 犬橇事始』など著書多数。



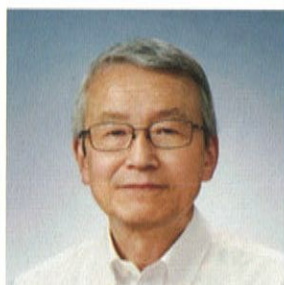
## 白鳥 孝（しろとり・たかし）

1955年、伊那市生まれ。立教大学社会学部卒業後、1979年に信英蓄電器箔機に入社。2004年、旧伊那市収入役に就任する。2006年、伊那市・高遠町・長谷村の合併で「伊那市」誕生に伴い伊那市収入役、2007年には副市長に就任する。2010年の市長選で初当選し、現在4期目を務めている。私生活では激務の間を縫って登山、溪流釣り、たき火等のアウトドアに親しむ一方、読書も大好きな書斎派でもある。



## 神長幹雄（かみなが・みきお）

1950年、東京生まれ。1975年、信州大学人文学部卒業。在学中休学して、2年間、アメリカに滞在。山と溪谷社入社後、『山と溪谷』編集長。出版部長などを務め、多数の山岳図書の編集を担当。辺境の山、アルプスなどの海外取材の経験も多く、個人的にも60カ国以上の国を旅する。著書に『未完の巡礼』『運命の雪稜』『豊饒のとき』『登山家・冒険家になるには』、編著に『山は輝いていた 登る表現者たち十三人の断章』など。共著『日本人とエベレスト 植村直己から栗城史多まで』で、第12回「梅棹忠夫・山と探検文学賞」を受賞。図書編集者、日本山岳会会員。



### ■電車利用の方：

JR 飯田線伊那市駅から徒歩4分

### ■バス利用の方：

伊那バスターミナルより徒歩3分

### ■自動車利用の方：

中央道伊那ICより15分。  
小黑川スマートICより5分

### ■駐車場について：

創造館には駐車場がありませんので、「いなっせ駐車場」など市営駐車場をご利用ください。駐車券を創造館事務所までお持ちいただければ無料化いたします。



創造館電話：0265-72-6220